

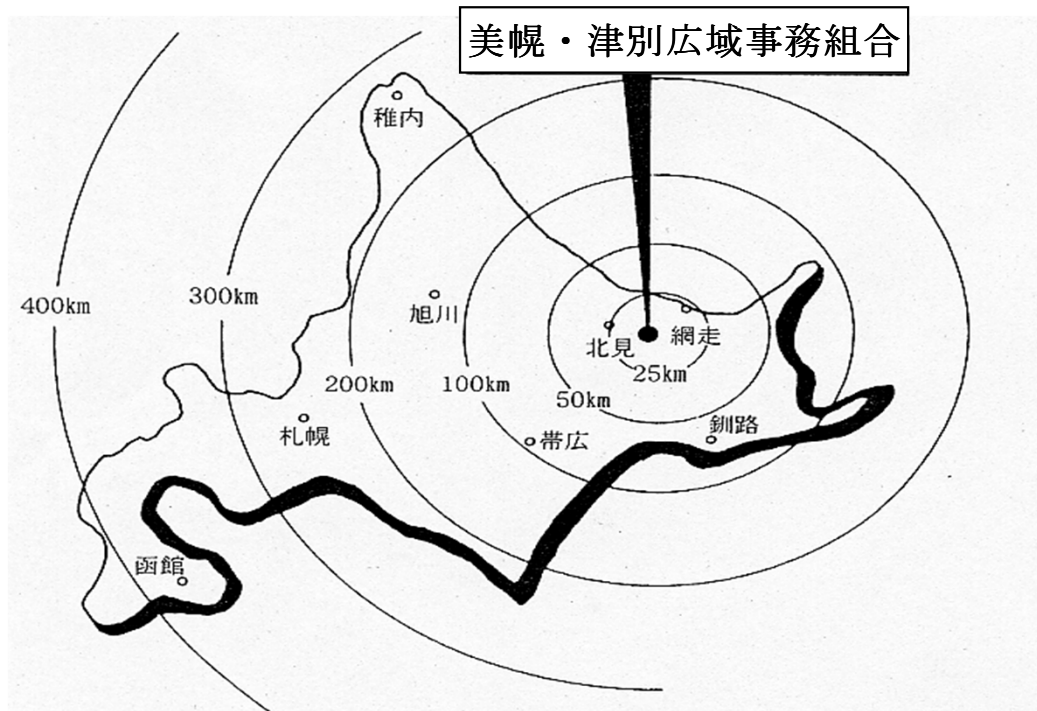
美幌・津別広域事務組合の概要

本圏域は、北海道オホーツク管内の東南部に位置し、オホーツク海に注ぐ一級河川、網走川の上流に所在する美幌町・津別町を構成行政体として、昭和46年10月11日に消防事務組合を設立。また、平成3年4月1日衛生事業組合と統合し、広域事務組合と名称変更したものである。

地形は、網走川を基幹に扇状に広がる河川と、これによって刻まれた流域に沿って豊かな農耕地と美林に四囲された農・林業を基盤とする行政体である。特に山地は、阿寒、屈斜路両カルデラ湖の外輪山脈に接し、景観にも優れ、屈斜路湖をパノラマ状に眺望できる美幌峠は、全国にその名を知られている。

気象は、内陸気候帯に属しており、オホーツク海に比較的近いため、海洋気象の影響もあるが、北見地方の日照率は全国一であり、降雨量は道内で最も少ない快適なところである。

交通網は、阿寒国立公園、釧路市に至る国道240号線、旭川市と網走市を結ぶ国道39号線、美幌町と根室方面を結ぶ国道243号線、知床国立公園を結ぶ国道334号線を幹線に道々、町道が網の目状に発達している。特にオホーツク圏の空の玄関女満別空港には、15分以内の至近にあり、ジェット化に伴い札幌市へは1時間、東京へは2時間で移動が可能である。また、JR石北本線美幌駅を有している。



区分 町別	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	備考
美幌町	438.36	9,742	21,033	世帯数・人口数は平成25年12月31日現在 (住民基本台帳)
津別町	716.60	2,516	5,353	
合計	1,154.96	12,258	26,386	

美幌・津別広域事務組合管轄区域図

